

令和4事業年度

事業計画書及び収支予算書

公益財団法人 周南市文化振興財団

令和4事業年度 事業計画書

1. 基本方針

周南市文化振興財団は地域文化振興の使命と役割を担い、指定管理者制度のもと周南市より委託を受け、平成18年度から周南市文化会館、周南市美術博物館、平成20年度から周南市郷土美術資料館の指定管理者として管理運営を行ってきた。令和3年度より新たに5年間の指定管理業務を受託し、本年は2年目となる。これまでの運営を引き継ぎ、周南市のさらなる文化活性化のためその任を果たしていく。

また平成25年4月に公益財団法人に移行し10年目となる。公益性を求められる法人として、目的に沿った法人運営の重要性を認識し、市民のニーズをいち早く取り入れ、各館の特性を生かした管理運営を行い、地域の文化活動の拠点として活動を行っていく。

事業においては、各館を中心に鑑賞機会の提供、市民文化活動の振興など幅広い文化事業を通じて、文化の普及、推進に努める。また周南市全域を対象に地域との連携を重視した活動に励み、豊かな文化環境をつくる。

財団設立以来培った実績と経験をもとに、様々なネットワークを生かして運営を強化し、利用者のサービス向上に努める。またより一層の効率化を進め、自立した経営を目指す。

一昨年発生した新型コロナウイルス感染症は未だ終息が見えず、引き続き万全の対策を取って運営を行っていく。

2. 周南市文化会館

(1) 管理運営

開館40周年を迎える文化会館は、西日本を代表するホールとしての機能を十分に発揮し続けるために、中四国でも高い利用率と集客力を維持し、多彩で豊富な舞台公演で注目されるよう努力を続ける。周南市の文化の顔に相応しい施設として、また利用の促進を図るために、各室の環境整備や貸出備品の更新等の改善を市に積極的に提案していく。今年度はホール音響設備の特別保守点検を実施するほか、コロナ禍でも利用者が安心して利用できるよう、多人数を同時検知できるサーモグラフィや非接触型体温計を無料貸し出しするなど工夫していく。

(2) 文化会館事業

ア. ホール事業

市民の声を生かし、幅広く質の高い舞台芸術を提供する。守りに入ることなく、さらなる工夫と熱意をもって事業の推進を図る。ニーズにあった公演をいかに効果的に組んでいくかが重要である。

クラシックでは開館40周年事業として、森麻季と錦織健を招聘する。また西京コンサートではソリストにショパンコンクールで2位に入賞した反田恭平を迎え、佐渡裕指揮、新日本フィルハーモニー交響楽団でベートーヴェンの名曲を届ける。

安定的な人気を維持する吹奏楽では「ドラゴンクエストコンサート」「yab吹奏楽コンサート」を、また伝統芸能では「LEO 箏リサイタル」など魅力的なラインナップで臨む。

ポップス分野では「山崎育三郎」「郷ひろみ」など、子ども向けとして「プリキュアドリームステージ」「仮面ライダースーパーライブ」、その他「島津亜矢」など幅広いジャンルで多彩な内容を取り上げる。

イ. 企画事業

文化の普及をめざし、音楽や演劇などとの出会いを提供、生活の中に芸術文化を根付かせる。将来的にホールへの来館や文化活動への参加に結びつけるための事業として、音楽や演劇、寄席を地域と学校に届ける「移動文化教室」を実施する。音楽と美術の部門で意欲的な発表に挑戦している「ポップアップフェスタ」及び多感な学生時代に本物の芸術にふれる機会を提供する「周南市中学校芸術鑑賞会」は、周南市中学校文化連盟と連携して開催する。また、ホール事業で開催するコンサートや公演などをより楽しく鑑賞するための「芸術鑑賞講座」を実施する。

その他、周南市出身の詩人、まど・みちおの世界を伝える「第28回まど・みちおコスモス音楽会」を開催。また地元芸術家を起用した独自公演として、親子で楽しめる「0歳から楽しむコンサート」を行う。

文化振興財団のサポーターともいえる会員については、継続率とともに事業への参加率を高め、舞台芸術、鑑賞芸術に対するファンづくりにつなげる。月刊紙「かるちゃあ通信・花鳥」は、山口県全域を対象に幅広い文化情報を提供するとともに、市広報の紙面も文化事業普及のために積極的に活用する。

ウ. その他

子どもからお年寄りまでのあらゆる世代の事業を実施し実績を積んできた経験を生かし、地域の学校や公民館、新聞社や放送局、地元企業など様々なネットワークを広げ、事業運営を安定させる。

ホール事業一覧

(公益目的事業1-1)

事業名	開催日	内容
ドラゴンクエストコンサート	4月17日	ゲームの名作「ドラゴンクエスト」の音楽を、日本を代表する吹奏楽団により演奏。
布袋寅泰コンサート	5月13日	昨年アーティスト活動40周年を迎え、東京パラリンピックの開会式でも演奏。
東京スカパラダイス オーケストラ	5月28日	ジャマイカ生まれのスカという音楽をオリジナルのスタイルに築き上げたスカバンド。
西京コンサート 新日本フィルハーモニー交響楽団	6月3日	指揮佐渡裕。ピアニストはショパンコンクール2位の反田恭平。
森高千里コンサート	6月4日	2019年に21年ぶりのコンサート活動を再開。昨年9月開催の振替公演。
山崎育三郎 LIVE TOUR 2022 ～ROUTE 36～	6月5日	ミュージカルで大活躍中。NHKでは大河ドラマや連続テレビ小説にも出演。
おしりたんていミュージカル むらさきふじんのあんごうじけん	6月18日	NHK Eテレで放送しているアニメ「おしりたんてい」のファミリーミュージカル。
島津亜矢 歌怪獣襲来ツアー	6月25日	“演歌の申し子”島津亜矢がおくる熱唱ステージ。
HYコンサートツアー2021	7月2日	沖縄出身の5人グループ。4年ぶり4回目。
郷ひろみコンサート	8月20日	デビュー50周年の記念コンサート。
大黒摩季コンサート	9月4日	デビュー30周年の記念コンサート。
ヒーリングっど♥プリキュア ドリームステージ	9月10日	人気アニメのプリキュアがみんなのまちにやってくる♪
〈こどもちゃれんじコンサート〉 しまじろうコンサート	9月18日	子ども達に大人気のキャラクターショー。
上野耕平サクソフォーン四重奏	9月25日	出光音楽賞を受賞し、人気実力を兼ね備える今話題のサクソフォーン奏者。
LEO (箏リサイタル)	10月2日	史上最年少で邦楽コンクール最優秀賞を受賞した今野玲央。メジャーデビュー5周年を迎える。
開館40周年事業 森麻季&錦織健	11月23日	日本を代表する2人の声楽家による貴重なデュオコンサート。
yab吹奏楽コンサート	2月	全国的に大ブームの吹奏楽コンサート。
仮面ライダースーパーライブ	2月	家族揃って楽しめるステージショー。男の子に絶大な人気を誇るキャラクター。

企画事業一覧

(公益目的事業1-1)

事業名	開催時期	内容
ポップアップフェスタ	6月12日	市内の小中学校を中心に、一般も含めた幅広い音楽活動を展開する。また美術作品展示も同時開催。周南市中学校文化連盟と共催。
移動文化教室	10～2月 11月 1月	公民館、学校と連携して地域へ届ける事業。 「移動音楽教室」「地域児童劇」「新春寄席」を開催。 音楽演奏会 4地区 児童劇 2地区 新春寄席 2地区
サロンコンサート	12月18日	普段はコンサートに参加しづらい幼児ファミリー向けクラシック演奏会。地元音楽家を起用し開催する「0歳から楽しむコンサート」。
第28回 まど・みちおコスモス音楽会	11月15日	周南出身の詩人まど・みちおの詩と歌で構成する心温まるコンサート。市内の幼稚園、保育園の年長児の発表と地元音楽グループの創作舞台で構成。
会員招待演奏会	1月15日	山口県出身、宇部市在住のヴァイオリニスト、上野美科を中心としたチェロとピアノのトリオで演奏予定。
開館40周年事業 NHKのど自慢	8月28日	全国各地からその土地に暮らす皆さんの歌声を生放送で放映。

(公益目的事業1-2)

事業名	開催時期	内容
バックステージツアー	年1回	音響室や調光室、ピンスポット室、奈落や楽屋などふだん見られない舞台裏を案内。
芸術鑑賞講座	5月15日	ホール事業で開催する演奏会や公演の内容を解説する講座。音楽や演劇等の楽しみ方を知ってもらう。
周南市中学校芸術鑑賞会	10月	周南市中学校文化連盟と共催。
情報紙発行 「かるちゃあ通信・花畠」	月1回	文化会館、美術博物館、郷土美術資料館の催しや自主文化事業、後援事業の案内。12,000部発行。
会員の運営	通年	会員の確保並びに運営。

3. 周南市美術博物館

(1) 管理運営

平成7年に開館した美術博物館は、本地域における文化の拠点施設としてその重責を担っている。開館27年を迎え、これまで以上に地域に密着した親しみやすい館として市民の期待に応えていくための運営を行い、諸整備を進める。

特に、県東部における、国宝が展示、保管できる登録博物館として貴重な美術作品・歴史資料を収蔵、展示することから、適正な保存、展示環境の維持管理、保安警備には万全の体制で臨む。また、より良い環境を目指すため施設の改善について市に提案し整備を進めており、今年度は空調設備改修工事が計画されている。

グッズ売場ではオリジナル商品の販売、展覧会開催時にはそれに合わせ人気の高い商品を仕入れるなど、品揃えを工夫する。喫茶事業においても展覧会や季節に合わせたメニューの提供など、来館者のニーズに応えつつ市民や来館者にとって憩いの場、安らぎの場となるよう努める。

「美術博物館の音楽会」として親しまれているサロンコンサートについては、平成11年度から連続開催し好評を得ていることから、今年度も継続して開催を予定する。

新型コロナウイルス感染症に対しては、細心の注意を払い拡大防止のため万全の態勢で臨む。

(2) 美術博物館事業

ア. 展覧会事業

周南市からの受託事業である特別展覧会と周南市美術展、しゅうなんアート・ナウ、並びに財団の特性を生かした自主事業である企画展覧会を積極的に展開する。

特別展覧会「生誕100年 宮崎進展(仮称)」では、周南市出身の画家で当館の名誉館長をつとめられた宮崎進の足跡と業績を紹介する。

「周南市美術展」では、多くの市民が気軽に参加できる総合美術展として一層の定着化を図る。「しゅうなんアート・ナウ」は郷土で活躍する作家の新作を展示し、周南美術の「今」を紹介する。

企画展では、「猫のダヤン35周年 ーダヤンと不思議な劇場 池田あきこ原画展ー」を開催、絵本作家・池田あきこの原画を展示するとともに、プロジェクションマッピングなどで作品世界を体感してもらう。当初は令和2年度に予定していたが、新型コロナウイルスの影響で延期となっていたものである。

イ. 企画事業

資料の収集、保存管理、調査・研究、展示公開、教育普及等が円滑に機能するように効率的な運営を図る。

常設展示室については、収蔵資料を展示する「コレクション展示室」、写真家林忠彦の業績を顕彰する「林忠彦記念室」、徳山地域の歴史を通観する「徳山の歴史」、まど・みちおの絵画作品や資料を紹介する「まど・みちおコーナー」で、それぞれの特徴を生かしながら内容の充実を図る。資料の調査・研究については、郷土に関わりのある作家や資料を掘り起こし、将来の資料収集や展覧会開催に備える。教育普及事業では、美術博物館講座として「子ども芸術ワークショップ」「美術博物館探検ツアー」などを実施し、美術や歴史さらに博物館事業全体に興味をもってもらうよう働きかける。

このほか支援組織の育成、情報の収集・提供についても積極的に推進し、地域とのネットワークづくりに努める。

特色のある事業については、林忠彦賞の運営を中心に、林忠彦記念室とも連携を図りながら情報発信に努め、創設時から標榜している「写真のまち・周南」の全国定着化をさらに推し進める。また、「まど・みちおコーナー」を拠点に、引き続きまど・みちおを顕彰する事業や研究を推進するほか、全国にむけて発信も進める。

ウ. その他

美術博物館の活動に関心をもってもらうために、事業実施にあたってはマスコミ等に周知する。また美術博物館、林忠彦賞、重点作家の宮崎進やまど・みちおのホームページを管理、SNSを通じて、随時最新のスケジュールや活動状況を紹介する。

4. 周南市郷土美術資料館

(1) 管理運営

平成7年に開館した郷土美術資料館は、開館27年を迎える。洋画家・尾崎正章の業績を顕彰する施設として、作品の研究、保存、公開と地域文化の振興を目的に活動してきた。過去の実績のうえに、周南市美術博物館で蓄積したノウハウや永源山公園内という立地上の特色を生かし、芸術を身近に感じることができる事業運営を行う。貴重な美術作品を収蔵、展示することから、適正な保存環境の維持管理、保安警備、さらに新型コロナウイルス感染症拡大防止に対して万全の体制で臨む。

(2) 郷土美術資料館事業

常設展は、尾崎正章の業績を顕彰するため、一定のテーマに沿って作品を紹介する。企画展は、地域ゆかりの様々な芸術文化を紹介する展覧会を開催する。その他、市内の個人、団体並びに小・中・高及び幼稚園、保育園等を対象とした展覧会を誘致し、地域の芸術文化や造形教育の振興を図る。

施設の特性を生かし、ワークショップ、生演奏や懐かしいレコードを利用したコンサートなど、館をより身近に感じてもらう事業に取り組む。

展覧会事業一覧

(公益目的事業2-1)

事業名	会期	内容
しゅうなんアート・ナウ	4月9日 ～ 4月17日	周南市を中心に広く活動する作家の新作を一堂に展示し、地域美術の振興を図る。
第30回林忠彦賞 受賞記念写真展	6月10日 ～ 6月19日	林忠彦の精神を継承し、さらに未来を切り開く写真家の発掘をめざす林忠彦賞の受賞作品を展示する。受賞作は林忠彦コレクションの中で永久保存する。
猫のダヤン35周年 —ダヤンと不思議な劇場 池田あきこ原画展—	7月1日 ～ 9月4日	「猫のダヤン」は、絵本作家・池田あきこが描く、不思議な世界“わちふいーど”に暮らす猫のダヤンと仲間たちの物語。原画を見るとともに、立体的に再現された作品世界を体感することのできる展覧会。
周南市美術展	前期 9月28日 ～10月2日 後期 10月5日 ～10月9日	周南市に在住、または通勤・通学・文化講座・文化団体に所属する人を対象とした総合美術展。平面、立体、書、写真の4部門で作品を募集する。
周南市学校美術展	10月14日 ～ 10月16日	周南市の幼稚園・保育園、小中学校の園児、児童、生徒による選抜美術展。
生誕100年 宮崎進展 (仮称)	11月2日 ～ 12月18日	周南市出身の画家・宮崎進の生誕100年を記念する展覧会。シベリア抑留という過酷な体験をもち、生涯をとおして、人間の生きる意味について芸術作品を制作することにより考えつづけた画家の姿を紹介する。

企画事業一覧

(公益目的事業2-1)

	事業名	開催時期	内容
常設展示室	コレクション展示室	通年	収集資料及び関連資料の展示。 企画展示室を補う第二会場。
	林忠彦記念室	通年	林忠彦の芸術と生涯を恒久的に顕彰。 オリジナルプリントの展示替。
	徳山の歴史	通年	特設コーナーの運営。 実物資料の展示替。
	まど・みちおコーナー	通年	まど・みちおの芸術を顕彰。 絵画作品、資料の展示替。

(公益目的事業2-2)

	事業名	開催時期	内容
	資料の調査・研究	通年	美術博物館資料の調査と研究。 資料の研究成果の発表、紀要の作成。
	研究成果の蓄積・活用	通年	資料調書・台帳の整備、収蔵目録の作成。 資料の貸出、著作権の管理。

(公益目的事業2-3)

	事業名	開催時期	内容
	美術博物館講座	随時	子ども芸術ワークショップ。 美術博物館探検ツアー。 (美術博物館の裏側を探検し魅力をPR) 各種講座の開催。 (美術・歴史講座、まど・みちおを語る講座等)

(公益目的事業2-4)

	事業名	開催時期	内容
	林忠彦賞の運営	通年	林忠彦の精神を継承し、写真界で活躍する作家の発掘を目指す。全国発信事業。 林忠彦記念室と一体的な運営を図る。